

令和3年5月26日 (宿題のみ)

別紙は玉置四段提供の新聞キリ抜きです。

ワクチンを

静かに待とう慌てまい

○ すでに1回目のワクチン接種を済ませた方やワクチンの予約ができた方、まだ予約もできてない方など様々だと思いますが、大規模接種も始まり全ての国民に必ず接種してくれます。それまで、さらに感染予防に注意して静かにワクチン接種を待ちましょう。

○ NO172 詰将棋宿題は6名の方から解答が寄せられ設楽竜王、青田五段、玉置四段、柳原二冠、秋山五段、花田三段の皆さん3問とも正解でした。

詰将棋正解者番付

	詰	将	棋	正	解	者	番	付
1	秋	山	五	段			1	7
2	青	田	五	段			3	
3	設	楽	竜	王・五	段		3	
4	玉	置	四	段			2	0
5	柳	原	二	冠・四	段		5	
6	花	田	三	段			6	
7	森	田	二	段			7	

詰将棋問題(7手詰)

(3問正解を2点、2問正解を1点に)

第1問

新型コロナウイルス
感染者数(25日発表)

市町村 新規 累計

大阪市	161	42659
堺市	9	6987
岸和田市	7	1668
豊中市	8	3560
池田市	1	878
吹田市	7	2922
泉大津市	0	654
高槻市	5	2450
貝塚市	2	613
守口市	5	1625
枚方市	9	3047
茨木市	7	2202
八尾市	11	2880
泉佐野市	2	658
富田林市	2	930
寝屋川市	6	2218
河内長野市	3	601
松原市	3	1245
大東市	7	1388
和泉市	7	1503
箕面市	3	1009
柏原市	5	605
羽曳野市	6	907
門真市	3	1286
摂津市	4	759
高石市	0	581
藤井寺市	2	520
東大阪市	23	6150
泉南市	1	402
四條畷市	2	494
交野市	4	562
大阪狭山市	0	497
阪南市	0	338
島本町	0	171
豊能町	2	117
能勢町	0	55
千早赤阪村	0	19
大阪府外	10	2243
調査中	0	202
合計	327	98281

※府の発表による。単位は人

明日の雨が心配で今日会報を配ります

様

車行将将

銀将

桂馬

香車

歩兵

○ NO172 詰将棋解答

第1問 ▲1五金 △同金 ▲3六角 △2五金
▲1五歩 △同銀 ▲2六桂 までの七手詰

第2問 ▲2一角成 △同馬 ▲4一飛 △同金
▲同金 △同玉 ▲4二金までの七手詰

第3問 ▲1二金 △同玉 ▲2一銀不成
△2二玉 ▲3四桂 △同金 ▲3二角成
までの七手詰

第2問



第3問



1937年 将棋伝説の「南禅寺の決戦」

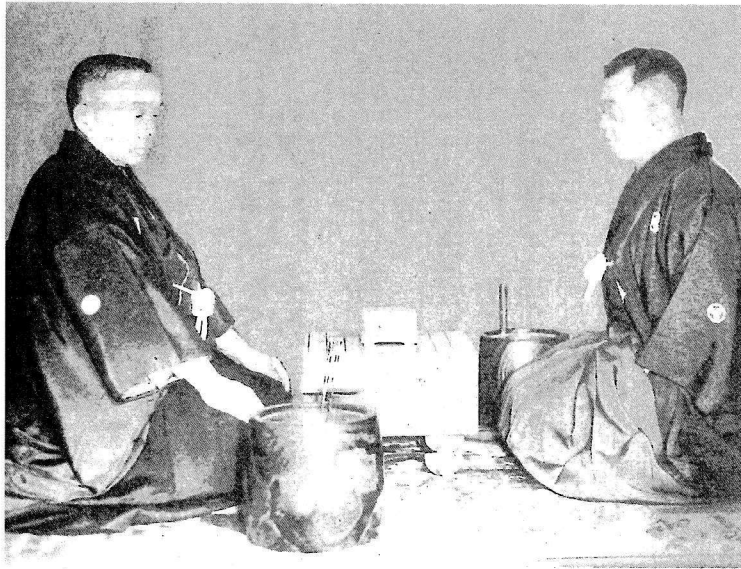
阪田三吉

復帰戦の舞台裏

大阪で活躍した将棋棋士の阪田三吉が1937年(昭和12年)に指した「南禅寺の決戦」の後に作られた契約書の草稿が、日本将棋連盟関西本部(大阪市)で見つかった。「名人」を自称し、将棋界を10年以上追放されていた阪田の歴史的な復帰戦で、持ち時間や対局料を決めるまでの舞台裏がうかがえる資料として注目される。

(西條耕一)

契約書草稿 大阪で発見



南禅寺の決戦で、対局する阪田(左)と木村＝「写真でつづる将棋昭和史」(マイナビ出版)から



阪田三吉(権歴史館提供)

(王置四段提供)

持ち時間「二十時間」・対局料「壱千五百圓」

は木村義雄八段に95手で敗れたものの、後手番の初手で端歩(はしふ)を突いた奇策は語り継がれ、作家の織田作之助は小説「聴雨」で「前人未踏の、奇想天外の手」と描写した。復帰後、第2期名人リーグに参加して4位に終わり、一線を退いた。

の対局料は今の200万円以上にあたる「壱千円」と記されている。交渉前とみられる阪田の対局料は1局「壱千五百圓」を上限に想定し、それ以上であれば木村、花田も増額するとあった。ところが実際の対局では持ち時間が史上最長の各30時間。現在の最長は名人戦の9時間だ。南禅寺では両者1手ずつしか指さない日もあり、死力を尽くした勝負は2局とも決着までに7日かかった。後の証言記録によると、対局料は木村、花田が2・5倍の各2500円。阪田は2局で今の数千万円に相当する1万5000円だったとされ、草稿段階の想定から5倍に膨らんだ。

当時、阪田は盛りを過ぎた66歳。木村、花田は35年開始の第1期名人戦リーグで首位と2位を走っており、勝敗は名人戦の権威にもかかわった。連盟職員で将棋史に詳しい山口恭徳さん(63)は「対局時間を最大限に使い、実力勝負で決着させる必要があったはず。劇り夏目漱石と並ぶ巨匠と対局する」と語る。

阪田は独学でトップ級の力を付けた伝説的棋士で、将棋一筋の生涯は「王将」の題名で映画や演歌などのモデルになった。

阪田の出身地にあり、阪田三吉記念室を設けている船松人権歴史館(堺市)の淵上圭介学芸員(40)は「眠れる獅子」と呼ばれた阪田の復帰戦に関する生々しい文書。伝説の決戦の全貌を知るのに役立たい」と話す。

昭和十一年十二月
将棋大成會
幹事長 木村義雄
讀賣新聞社
将棋部 中
阪田三吉氏対局件、関る契約草稿

「南禅寺の決戦」の契約草稿の表紙。対局者で将棋大成會幹事長でもあった木村義雄が「壱千五百圓」を「一〇二〇圓」と誤記している。